

(道徳) 学習指導 (活動) 案

【実践者】

【関連する SDGs】 (4、10)

氏名 渡部 宏美

学校名 苫小牧市立沼ノ端小学校

学年 (人数) 6年生 30名

実施教科 (領域) 道徳




【実施概要】

1. 単元名 (活動名) : 学びの大切さを考える (私たちの当たり前)
2. 単元の目標 (評価規準を意識して設定) : 内容項目C-18 他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めようとする態度を養う

3. 単元計画 (全 1 時間)			
時	ねらい	学習活動	資料など
	当たり前と思っていることが当たり前ではないことに気づき、目の前にある学習に対して努力をしていこうとする気持ちを育てる	<ul style="list-style-type: none"> 世界の子どもたちと自分たちを比べておかれている状況の違いについて考える 文字が読めない疑似体験を通して学ぶことの大切さについて考える 自分たちのこれまでを振り返りこれからの学びについて考える 	<ul style="list-style-type: none"> パワーポイント ワークショップ「世界がもし 100 人の村だったら」 ワークシート 書籍「僕らが学校に行く理由」

4. 本時の展開 (1/1)			
本時のねらい : 当たり前と思っていることが当たり前ではないということに気づき、目の前にある学習に対して努力をしていこうとする気持ちを育てる			
過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 (5分)	1 学びについて考えさせる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">もし、明日から学校は、お休みだよと言われてたらどうですか</div> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしい ・ずっとゲームをする ・勉強できないと困るかもしれない <ul style="list-style-type: none"> ・好きなことが学校へ行くことだと語る外国の女の子の様子を掲示し、自分たちの気持ちと比較する 	短時間で行う ワークシートに書かせる ・ただ単にかわいそう、という感想にならないように注意する	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイント ・授業では、実際の女の子の写真を使用した

<p>展開① (32分)</p>	<p>2 文字が読めない人が、薬の選択をする困難さを疑似体験させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある日家族が病気になりました。早く薬を買いに行かなくてはなりません。お店に着くとお店の人はとても忙しそうです。お金を置いておいてくれたら、薬を持って行っていいと言っています。どれが薬か選びましょう <p>外国語で表示されたペットボトルを用意し、どれが薬かをあてさせる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・今の気持ちを発表してみよう </div> <ul style="list-style-type: none"> ・読めない ・誰か教えてくれないかな ・飲むのはこわいな ・英語表記を出した後、英語が読めた子と読めなかった子それぞれに感想を聞く <p>3 文字が読めない人が、サインをする恐怖を疑似体験させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読めない言語で書かれた契約書にサインさせる。内容は、サインした人が有利になるものにする ・大丈夫かな ・騙されているかもしれない ・サインしない方がいいと思う <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・文字が読めるとどんなことができるでしょう。 </div> <p>○買いたい物が選べる⇔選ばない ○友達とチャットできる⇔できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい体験で終わらせるのを避ける <p>ボトルの文字表記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ネパール語で 2 英語で <ul style="list-style-type: none"> ・用意する薬は飲ませない。(コロナ感染予防のため) ・文字が認識できた優越感や劣等感を感じさせる <p>選ぶ前に気持ちを発表させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラベルを裏返し ・文字が認識できた優越感や劣等感を感じさせる <ul style="list-style-type: none"> ・契約書は1枚拡大コピーしたものを用意する 書かれている内容は、後で児童に伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトル3本(外国語の表記) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>पानी</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>औषधि</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>विष</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・拡大された契約書(外国語) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="font-size: small;">サインしてください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="font-size: x-small;">Бу ерга сизнинг исмингизни ёзсангиз, уч кун уй ишлари қилишингиз керак эмас.</p> </div> <p style="font-size: x-small;">サインしてください。</p> </div>
----------------------	---	--	---

<p>まとめ (8分)</p>	<p>○安心できる⇔安心できない ○知識を増やせる⇔増やせない ○困っている人を助けられる⇔助けられない ○誰かに文字を教えられる⇔教えられない ○時刻表が読める⇔読めない</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分が文字が読めることをどう思いますか</p> </div> <p>・読めてよかったと思う ・勉強していなかったら、読めなかった</p> <p>・ワークシートに今日の感想を書き、発表させる</p> <p>教師の説話 本の紹介</p> <p>「僕らが学校に通う理由」</p>	<p>考えをワークシート に書かせる 文字が分かる人と分 からない人で実際に そのような不利な状 況が生まれているこ とも説明する</p> <p>・日本の識字率を紹 介する</p> <p>・筆者の言葉の引用 を紹介する</p>	
<p>5. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の体験と重ねて発問した内容について考えることができたか ・積極的に活動に参加し意見を発表していたか ・自分なりに問題について考え、目の前の学習に対して努力していこうとする気持ちを高められたか (発表・観察・ワークシート) 			
<p>6. 資料および外部との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界がもし 100 人村だったら」の活動を参考にした ・ウズベキスタンに派遣されていた JOCA 職員に文章の作成を依頼した <p>参考文献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発教育協会「ワークショップ版 世界がもし 100 人の村だったら」2020 年 ・渋谷敦志「僕らが学校に行く理由」ポプラ社 2022 年 8 月 3 日 			

【自己評価】

<p>苦勞した点</p>	<p>文字が読めない活動の取り入れ方を悩んだ。時間的に一つをじっくり行なった方が良いのか、二つの活動を入れるのか考えた。また、二つ目の活動では、サインした人が不利になる内容にすべきか、得をする内容にするべきか最後まで悩んだ。</p>
<p>改善点</p>	<p>終末の説話に用いた本の内容が少し難しく、子どもたちには理解できなかった部分があった。この資料は、発展途上国の子どもたちの学ぶ様子を見た筆者が自分なりに考えた学ぶ意味が書かれていたので、授業の終末に活用できると考えたが、実際に授業を行なってみて、語彙や文章が発達の段階に合わなかったように感じる。用意する本を変えるか、筆者の言っていることを文字でも表記して分かりやすくする必要はある。</p>
<p>成果が出た点</p>	<p>文字が読めない苦勞や困難さを子どもたちに実際に体験させる活動は効果があった。</p>
<p>学びの軌跡 (児童生徒の反応・感想文・作文・ノート等)</p>	<p>ワークシートより、</p> <ul style="list-style-type: none"> • 日本の識字率が 100%じゃないのはびっくりした。 • 学校をめんどくさいって言ってしまい、申し訳ない。 • 今学校に通っていることを感謝したい。 • 自分がしっかり学ぶことで誰かに教えてあげることができると分かった。 <p>子どもたちに、授業を受けられることが、当たり前のことではなく、それができない国にとっては、贅沢なことであることを気づかせることができた。本実践後、社会科の学習で「戦争中は、学習している場合ではなかったという子どもの話」が出てきた。本学級の子どもたちは、今回の道徳の授業と結びつけて考え、日本でもかつて学びたくても学べなかった時代があったことに気づくとともに自分たちの置かれた場所の幸せさについて実感することができた。</p>

	<p>道徳の授業は特効薬ではないとよく言われる。子どもたちに大きな変化があったわけではない。しかし、ここで学んだ記憶は、これから成長する過程ではとても重要なものになるのではないかと考えている。時々何かの拍子に思い出した際には、今ある状況を大事にしていこうと思うこともあるかと思う。漢方薬のように少しずつ人生に効いていくことを期待している。</p>
<p>授業者による自由記述</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際理解に繋がる教材を作りたいと思っていたがなかなか一人では、進まなかった。今回夏休みの JICA の研修を通して一つの授業を作ることができてとてもよかった。 ・ 浦河で働くインド人の方との交流会で、契約書にサインをすることが多いが大半が何て書いてあるのか分からないままサインをしているというお話を聞き、その不安さを実感してもらうため授業に取り入れた。 ・ 6年生以外でも使用できる内容になっていると思うので、他の学年でも実施したい。
<p>学校内外で SDGs 学習・授業実践を広める取り組み</p>	<p>SDGs のマークが書かれたものを使用し、(バッジ、下敷き、シールなど) 子どもたちが普段から自然と目に入るようにしている。また、SDGs がプラスチックやゴミ問題のことだけだと認識している児童が少なからずいるので、今回の授業などを通し、あらゆる面での課題があることを知ってもらう機会を増やしている。理科や社会、英語でも教科書に SDGs の学習内容が掲載されているので、その都度確認したり、振り返ったりするようにしている。給食でストローを使わずに牛乳を飲んでみるなど身近なところから取り組めることを意識させている。</p>

/	教材 番号	教材名	名前
---	----------	-----	----

◎今日のテーマ

◎初めに考えること

◎話し合ってみよう

<p>【自分の考え】</p>	<p>【友達の考え】</p>
-----------------------	-----------------------

☆今日の授業で感じたこと・考えたこと

◆振り返り

	とても できた	よく できた	あまり できなかった	できな かった
① 今日の授業では、発言ができましたか。	4	3	2	1
② 友達の意見を聞いて、良い所を見つけられましたか。	4	3	2	1
③ 「自分ならどうするか」といっしょうけんめい考えましたか。	4	3	2	1

いいことあります。

**Бу ерга сизнинг
исмингизни ёзсангиз
уч кун уй ишлари
қилишингиз керак емас.**

サインしてください。

私たちの当たり前

～学びの大切さを考える

もし、明日から学校
に来なくてもよかったら？



【世界の中でいちばん好きなことは...？】
この質問に、あなたなら 何と答えますか？
アフガニスタンで暮らす8歳の女の子の答えはこうでした。
「世界の中でいちばん **学校** が好き！！」



世界で！

小学校に通っている
～男子81% 女子77%
小学校に通っていない
約20%(5人に1人)



※1 UNESCO TEFA Global Monitoring Report (2011)

* 小学校に入学しても
卒業できずにやめてしまう
子も多い。

世界で文字が読めない人

20%(5人に1人)

学校に通わなかった
場合を体験してみよう。





水 पानी

薬 औषधी

毒 विष

英語で表記



文字が読めるとどんなことができるでしょう。



自分が文字が読めることをどう思いますか。



日本の識字率

99.96%